



下関市長の部屋

検索

<http://www.city.shimonoseki.lg.jp/>



新しい火の山ユースホステルの宿泊室(相部屋)で管理者から説明を受ける中尾市長(左)

学びとくつろぎの2施設完成！ 「教育センター」「火の山ユース」

ろんには。市長の中尾友昭です。今回は2月から今月にかけて完成した2つの施設を紹介します。

2月20日、「下関市教育センター」の竣工式を行いました。同センターの建設事業では、平成23年度に基本・実施設計を行いました。小・中学校耐震化の推進を優先し、着工を2年間先送りすることとなりました。教職員の研修施設が無かった本市にとっても、教職員の皆さんにとっても待ちに待った施設の完成です。

今後は、教職員の研修・研究、教育相談、教育委員会事務局それぞれの機能を一元的に併せ持つこの施設が市の教育の中心となります。教職員の資質・能力の向上を図り、学校の教育力を高め、一人ひとりの子どもたちのよさや可能性を伸ばす教育をさらに推進し、下関の未来(あす)を創る人材を育てたいと考えています。

同センターの北側には幼保一体化施設などの建設も予定されています。線路をまたいで旧国道191号(市道)汐入・山の田線と市道高尾・幡生線をつなぐ都市計画道路「武久幡生本町線」が完成すれば、

アクセスも向上し、旧幡生ヤード跡地の活用にも弾みがつくものと期待しています。

関市火の山ユースホステル「海峡の風」が今月5日に、グランドオープンします。海峡の風は、火の山公園の山麓に位置し、全客室から関門海峡や関門橋を間近に見渡せる最高のロケーションにあります。絶景を眺めながらのバーベキューや、冬には、下関名物のふく料理をお手軽な値段でお楽しみいただけます。以前のユースホテルより、高い場所にあるため、より一層迫力ある景色をご覧いただけます。

火の山公園トルコチューリップ園と直結し、来月上旬には4万本のチューリップも見ることができ、館内には研修・会議室もあり、学校や企業の合宿、研修会などにも利用しやすくなりました。利用人数に応じたいろいろな広さの部屋を用意し、ひとり旅から家族旅行、団体旅行まで、さまざまな形で利用できます。

ぜひ、関門海峡の心地よい潮風を感じながら、新しくなった火の山ユースホテルで、くつろぎのひと時をお過ごしください。

しものせきナビ vol.64

幕末維新紀行

浦田青井の台場

下関市豊浦町大字浦田後地

泊ヶ鼻の台場

下関市豊浦町大字室津下



幕末、日本近海に出没した外国船に対する危機感から、長州藩は北浦沿岸に多数の台場(砲台)を築き、海岸線の守りを固めました。天然の良港として古くから栄えた豊浦町室津にも湾の南北突端に「泊ヶ鼻の台場」と「浦田青井の台場」が設置されました。嘉永2(1849)年7月、藩の命を受け、萩から赤間関まで沿岸防備の様子を見回った吉田松陰は、洋上からこれら台場を遠見しています。

浦田浦庄屋が残した記録にも、台場築造の記事があります。台



場の完成に合わせ嘉永3(1850)年5月、外国船が来航した際、四連打の早鐘をつきこれを知らせる者と、周囲の浦村に走って知らせる俊足の者をあらかじめ決めておくこと、15歳以上の者は指示のあった場所に直ちに集合することなどが、周囲の浦村に対し長府藩から指示されています。このような情勢の変化から、地域の人々は外圧を肌身で感じることとなりました。二つの台場跡は、幕末の緊張感を物語る史跡として、昭和51(1976)年に豊浦町指定史跡に指定され、合併により現在は市指定史跡となっています。

風光明媚な室津湾ですが、外海に臨む両台場跡からは、幕末の緊張感が伝わってきます。